掲載日:2014年11月03日,面名:U206X0,記事ID:K201411030A0U206X00002
(C)河北新報社

21U野球W杯 台湾で7日開幕

日の丸背負い活躍期す

台湾で7日に開幕する野球の21U（21歳以下）ワールドカップを前に、日本代表「侍ジャパン」に選出された東北楽天の森雄大投手、三好匠内野手、榎本葵外野手の3選手と、東北の大学から唯一選出された熊原健人投手（仙台大3年）が、試合に出場して日本の勝利に貢献しようと闘志を燃やしている。

森　雄大

榎本　葵

三好　匠

21Uワールドカップは今回が初めての開催で、11の国と地域が参加し、16日まで行われる。プロとアマチュア混成チームの日本代表24人は10月31日～2日、東京都の明大グラウンドで強化合宿を行った。4人は同年代の選手と一緒に練習し、刺激を受けた様子だ。

三好は「トップレベルの選手と一緒にプレーするのは守備面でも打撃面でも勉強になるし、負けられないと思う」と胸を躍らせる。22歳の榎本はオーバーエージ枠で選ばれた。「チームを引っ張っていけるようなプレーをしたい」とリーダー的な役割を意識する。

今季2勝を挙げた森は先発での起用が見込まれる。「投げっぷりの良さを出したい。普段の行動から（日本代表であることを）意識し、試合でもその思いを出したい」と日の丸を背負う重みを口にする。

熊原は、仙台大の森本吉謙監督から「プロ、アマのトップ選手の中で得られるものを学んで帰って来い」と送り出された。右腕は「東北代表としての思いを背負って戦う。生命線の真っすぐとフォークボールを投げ込み、勝利に貢献したい」と活躍を誓う。

代表チームは3、4日に巨人の2軍とジャイアンツ球場で練習試合を行った後、5日に台湾へ出発。7日に1次ラウンドグループBの初戦でオーストラリアと戦う。

21U日本代表の合宿で練習に励む仙台大の熊原（右）＝1日

楽天 三好「攻守で勉強に」

楽天 榎本「チームけん引」

楽天 森「良さ出したい」

仙台大 熊原「東北代表胸に」